

# ジェイリース 第10期決算を発表

## 売上高27%増、純利益23.6%増の増収増益



ジェイリース  
(大分県大分市)  
中島拓社長(55)

家賃債務保証のジェイリース(大分県大分市)は、第10期(2013年3月期)の決算を発表し、過去最高益を達成したことを明らかにした。大分で誕生した家賃債務保証

会社として、特に九州地方で契約数を伸ばしてきた同社。昨年4月の北九州支店開設により九州全県、さらには東京を含めた東日本エリアなど国内14カ所での店舗網を構築。新商品を投入するなど攻めの展開に力を入れてきた。

売上高は、17億3000万円で前期比27%増。営業利益は、東京本社の機能強化を目的とした移転や設備投資、中途採用による人件費増加により800万円の増加にとどまったものの、当期純利益は、1億1500万円と前期から2100万円増加し過去最高となった。自己資本比率は過去最高の57%まで上昇した。「安定充実した財務基盤

は当社の信用力のひとつ(同社佐藤一郎専務)。設立10周年を迎える第11期は既存拠点の充実や人材育成に注力する。6

月の取締役会では株式上場を目指すことが決議され、株主総会において上場準備を本格スタートさせると発表した。